



豊玉二中だより

令和3年度 第10号
発行日 1月12日(水)
練馬区立豊玉第二中学校
校長 神山 信次郎

新年を迎えて

校長 神山 信次郎

あけましておめでとうございます。令和4年が始まりました。皆さんは新しい年の始まりをどのように過ごしたでしょうか。きっと今年一年をどんな年にしたいか、目標や計画を立てたことでしょう。

3年生は自分の進路決定に向け大きな目標があると思います。また、その目標に向け学習の計画も見直したのではないのでしょうか。さらに、卒業を間近に控え、中学校生活を有意義に過ごすにはどうしたらよいかなど考えたことでしょう。1・2年生も進級するためにどのような学習が必要なのか、上級生としてどのような心構えが必要なのか、など真剣に考えたことと思います。

私たちは新たな今年の目標や計画を立てたとき、今まで経験したこと、つまり楽しかったことやうれしかったこと、辛かったことや苦しかったこと、成功したことや失敗したことなど、昨年のことを思い出しつつ、計画を立てていきます。人はそれぞれ考え方も違えば、環境や置かれた立場も違います。当然目標や計画も違います。しかし、誰もが共通して大切にしなければならないことは、『今年も去年のままであってはならない』ということ、そして『今日は昨日のままであってはならない』ということ、『明日は今日のままであってはならない』ということです。

今年の干支は「寅年」です。「虎は千里往って千里還る」と言われています。これは、一日のうちに千里もの距離を行き、さらに戻ってくることができるという意味です。活力に満ちた行動力のある様を表することばで、この行動力は家族を思うがゆえだと言われています。私たちも、「寅年」にあやかって、目標をもって行動力のある毎日を送っていきましょう。

世の中は日々めまぐるしく動いています。全ての物事が刻々と進化していると言っても過言ではありません。私たちも立ち止まることなく、一步でも前進しなければなりません。

心静かに年が明け、心静かに新年の計を立てる。今日の生活の上に明日の工夫を、明日の生活の上に新たな工夫ができるよう、そんな思いでこの日のこの朝（毎日、毎朝）を迎えたいものです。

保護者の皆様、昨年同様本校へのご支援、ご協力をお願いします。

